

【vol.04】C メジャーペンタを使う ～その2～

さて、では今回は『これまで覚えたスケールを使う』という部分を重点的にやっつけていこうと思います。

『スケールが使えるようになる』と言うことは、自分のオリジナルのソロを作る時や、アドリブを行う際の、フレーズのバリエーションが増える、と言うことです。

やはりどんなことでも、最初は『真似る事(コピーすること)』から始まります。

『自分のオリジナル』と言うモノは、複数(2人もしくは2つ以上)の要素を真似て(習得して)、それらを良いバランスで上手く混ぜ合わせた(混ぜ合わせられた)時に生まれるもの。

そういったことを踏まえると、最終的に自分のオリジナルを作るには、
『自分の中に他人の手法を取り入れる』と言う作業が必要になりますよね？

なので、世間では、『コピーが大事』と言われるわけです。

ですが、1つ注意しなくてはならないのは、
『ただ漠然とコピーだけしていてもダメ』だと言うこと。

重要なのは『そのプレイヤーが何を考えて、どういう演奏をしているのか？』です。

そこをしっかりと分析できないと、一定以上、曲やフレーズのコピーをしていても、
『自分が演奏する時に、そのネタをどこで使ったら良いのかがわからない』という状況になります。

そう言ったことにならない様に、音楽的な分析、把握の為に、
スケールや理論などといった『音楽の知識』が必要なのです。

と、いうことで、まずは覚えたメジャーペンタの使い方を学ぶ為、
身体に覚えこませる為に、実際の楽曲を参考に練習してみましよう。

では、今回のモデルにする曲は2つ。

The Beatles (ビートルズ)の“Let it be”と、
Oasis(オアシス)の”Don't Look Back In Anger”という曲のギターソロです。

どちらの曲も、これまで覚えたCメジャーペンタの
重要ポジション主体のソロなので、良い練習になるでしょう。

本当は、原曲のソロを完コピするのが一番わかりやすいのですが、
著作権の都合上、完コピ譜を載せるとちょっとまずい可能性があるので、
譜例は原曲ソロをアレンジしたものにしてあります。

どちらかという、フレーズを真似た、というよりは、
指板上の動きを真似たものになっています。

感覚を掴めば原曲ソロも耳コピ出来ると思うので、
そういったことにもチャレンジしてみましょう。

※譜面作成ソフトの都合で、タブ譜では上手く表せない表現があります。
タブ譜だけを見てると、特にリズムがわかりにくいので、音符(オタマジャクシ)の方も、
よく見てみてくださいね。

モデル楽曲 Youtube リンク

The Beatles “Let it be”
<https://youtu.be/ajCYQL8ouqw>

Oasis ”Don't Look Back In Anger”

原曲動画

(ピッチがちょっと高いので、動画に合わせて弾きたい場合は444ヘルツ位で
チューニングしてみてください)

<http://youtu.be/r8OipmKFDeM>

Live 動画

(こちらは440でOKですが、フレーズが原曲とちょっと違います)

<http://youtu.be/n4bMzztIRe0>

※どちらの楽曲も、万が一、削除されている場合は曲名で検索してみてください。

※フレーズを弾く前に、コード進行を確認しておきましょう。
コードバックを鳴らしながら練習した方が、ハーモニーの感覚が身につきます。

※DTMソフトやレコーダーなどを持っていない場合は、[このブログの記事](#)を参考に、フリーソフトでバックングを作って練習することをお勧めします。

The Beatles “Let it be”風、譜例 1

♩ = 60

S-Gt

mf

C G Am F

TAB

C G F C

The Beatles “Let it be”風、譜例 2

C G Am F

TAB

C G F C

full

Oasis “Don't Look Back In Anger”風、譜例

♩ = 80

S-Gt

4/4

1 F Fm C 2 F Fm

mf

full fullfull full full fullfull

TAB

7 7 7 7 5 5 (5) 5 7 5 7 5 7 7 7 5 7 7 7 5 5

4 C 5 F Fm C

TAB

(5) 5 7 5 7 5 3 3 5 3 5 3 3 5 7 5 7 5 5 7 9 9 7 5 9 8 10 8 8 8 8 8 8 10 8

G G# dim Am G

full full full fullfull

TAB

8 10 8 8 8 8 10 8 8 10 8 10 8 10 8 8 X X X 12 15 12 15 15 12 15 12 15

F G

full full full full full full full full

TAB

15 12 15 13 14 13 15 15 15 13 15 15 12 15 12 15 12 15 12 15 12 15 12 15 (15)

それでは今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼